

# この空と さつまいも

千葉県成田市。  
かつてこの地では空港の建設をめぐる  
三里塚闘争が起きました。  
農地を守るために戦った  
先代たちの思いを今に継いで。  
さつまいもの生産者  
「三里塚酵素の会」を訪ねました。



芋収穫機がテカルゴを慣れた手つきで運転する堀越一仁さん。複数人が乗り、収穫から選別、コンテナ詰めまでこれ1台で行うことができる。



カメラの前でおどけてくれた秋間さんご夫婦。2000年から農業に携わっている。



モンゴル出身の男性が社員として活躍している。選別されたさつまいもの根を切る作業中。

# 三里塚闘争の記憶とともに

## 農地を守るため 戦った日



貯蔵庫の中は湿度と温度が常に保たれている。湿度90%になるよう霧が吹き出す。

成田国際空港から飛び立った飛行機が、一機、また一機と空に航跡を残していきます。空を見上げると飛行機雲があちこちに。千葉県成田市大清水。空港にほど近い地に、「三里塚酵素の会」の生産者・堀越一仁さん(65)のさつまいも畑があります。穏やかに流れる冬の澄んだ空気に、その名残は微塵もありませんが、この土地はかつて「三里塚闘争」の舞台となった地です。

府と、農地を守るべく立ち上がった地元住民が対立し、さらに学生運動をしていた学生たちが反対派に合流しました。

建設を巡って展開されたこの闘争は、成田闘争とも言われ、やがて死者を出すほどまでに激しさを増していきます。

空港問題が勃発した当時、堀越さんは小学校4年生。現在94歳になるお父さんの昭平さんとともに、20年前まで反対運動のさなかに身を置いてきました。闘争を描いたフィクション漫画「ぼくの村の話」(尾瀬アキラ・作)のモデルになったのも堀越さんたちのグループです。

現在、大地を守る会で販売させてもらっている堀越家のさつまいも。そのつながりの原点は、この頃に遡ります。

「大地ができるよりもずっと前から

のつながりなんですよ」と堀越さんは笑います。

当時、反対運動に参加した学生たちが40〜50人、堀越さんの家に常駐していたと言います。その一人が、学生運動の指導者だった藤本敏夫でした。のちの大地を守る会・初代会長です。一方的な押し付けに屈せず、自分たちの農地を守る。そんな共通の思いがつながりの原点。大地を守る会の前身である「大地を守る市民の会」が設立される1975年よりもさらに前の話です。

## 生かしながら休ませる

物理的な排除など実力行使を行う71年の強制代執行では機動隊との激しい衝突があり、54人が拘留され、農家の若い働き手がいなくなったと

農業組合法人かんらん車代表理事の堀越一仁さん。



親の代からの農業を継いだ池上さんご夫婦。





1 数分おきに飛行機が離着陸する。  
2 一仁さん(左)と父・昭平さん(中央)、息子の佑弥さん。

「有機は誰に頼まれたわけでもない。有機は誰に頼まれたわけでもない。」



「新しい生産者を増やしていかないといけない。先輩・後輩はあるけど、生産者は平等です」



焼きたての紅はるか。割るとしっとりした黄金色があらわれる。



焼き芋にすると、甘くてしっとりした味いに濃厚あま蜜さつまいも・紅はるか

1036 蔵  
少量400g 368円(税込397円)

1037 蔵  
800g 589円(税込636円)

③三里塚酵素の会(千葉県)  
※泥付きでお届けする場合があります。  
※異なる産地のものが届く場合があります。

## とれたてよりも貯蔵後が甘い

堀越さんが現在生産しているのは紅はるかとシルクスweetの2品種。収穫されたさつまいもたちは貯蔵倉庫で眠っていました。野菜や果物は、とれたてで新鮮な

「蒸すよりも焼くほうがおいしい。水分が飛ぶから」とお父さんも太鼓判を押します。水分を飛ばすには、時間をかけてじっくり焼くのがコツだそう。

取材に訪れた12月下旬。すでにさつまいもの収穫は終わり、畑に芽を出していたのはからし菜です。近年猛威をふるっているさつまいもの基腐(もとぐされ)病を防ぐための対抗作物として植えているのだそう。「こうして畑を生かしながら休ませるの。そうしないと畑が痩せていく一方だから。緑肥にもなる」病気はどうしたってあるもの。大事なのは抵抗力があるかどうかだと堀越さんは言います。土が栄養失調状態にあるから、病気に負けてしまう。野菜も人間も同じことです。畑の隣には大きな堆肥施設を構えています。土は試験場に出して成分を分析し、科学的なデータに基づいて、改良を重ねてきました。「だってそうしねえと土がどれだけお腹が空いているかわかんねえじゃん。腹いっぱいのところに入れすぎたら張ります。」

10月下旬から1か月ほどの間に収穫したさつまいもは、貯蔵庫で眠りにつきます。この間にでんぷんが糖化するによって、甘みが増すのです。ケースが高く積まれた貯蔵庫の中は温度15〜16度、湿度90%近くに常に保たれています。昔は穴を掘って埋めたり、畳を巻いたりして貯蔵していましたが、8年前に新設したこの貯蔵庫のおかげで、年明けから初夏までという長期間にわたるさつまいもの安定供給が可能になりました。シルクスweetは紅はるかに比べて硬さがあるので大学いもなどの料理にも向いていますが、紅はるかのおススメの食べ方は何と言っても焼きいも。

東城さんご夫婦は5年前に就農。



## 互恵のためのアジア民衆基金～顔の見える海外支援～

### 互恵のためのアジア民衆基金とは

主にアジア各地のフェアトレード商品の産地を支援するための融資基金で、2009年12月に設立されました。バンラディッシュのグラミン銀行が始めた農村振興のための少額融資(マイクロクレジット)の考え方を基礎に、それぞれの産地が抱える問題を解決するために、各産地自身が提案するプロジェクトに低利で融資を行うとい

うものです。大地を守る会の定期宅配会員の皆様にご購入いただいたバラゴンバナナ(10円/1kg)とエコシュリンプ(5円/100g)の売り上げの一部をその基金として充当し、日本と韓国他団体から集まった基金とあわせて、年1回開催される総会で精査、可決されたプロジェクトに融資されています。

### パプア人自らつくるスイーツ加工場を支援

互恵のためのアジア民衆基金は7か国の産地を支援していますが、その中の一つインドネシア、パプア州はチョコレートの原料カカオの産地。しかしカカオを作る人たちはカカオを使ったチョコレートを食べたことがありませんでした。そこで、2018年から地元の人向けの手作りスイーツ施設事業が開始され、これまで2億インドネシアルピア(168万円)が融資され

ました。融資はチョコレート等各種スイーツを製造する機械の購入などに充てられ、地元のカフェで営業が始まっています。自分たちの作物がどのように食べられているのかを知ることは、海外でも大切なこと。自分たちのカカオから作られたスイーツを楽しみながら、パプアの人々はますますおいしいカカオを作ろうと栽培技術に磨きをかけています。



1 「自分たちのカカオが美味しいスイーツになってとてもうれしいです」  
2 アイスクリームは人気の商品。クッキーなどが焼けるオープンも購入しました。  
3 コロナ禍で閉鎖していたカフェは再開し、お客さんも戻りつつあります。

## イベント

### 今年のテーマは「大人の遠足」 大地を守る会オーガニックフェスタ2022(オンライン) 2022.2.26(土) 10:30~17:00

大地を守る会設立以来続く、顔が見える関係を作り広げるイベント「大地を守る会オーガニックフェスタ」。今年のテーマは昨年開催した「大地を守る会大人の学校」の大人の遠足編。1日かけて全国、世界をまわります。加工品メーカーの工場や畑と中継を繋いだ生産現場見学や海外と交流するオンラインツアーを予定。詳細は大地を守る会HPにて。

#### DATA

申込…………… 不要 参加URLを後日公開いたします  
主催…………… 大地を守る会オーガニックフェスタ実行委員会  
講師…………… 大地を守る会/藤田和芳、秋川牧園/秋川さん、坂利製麺所/坂口さん、生活アートクラブ/富士村さん、一宮大地/久津間さん、オルター・トレード・ジャパンさん 他

※新型コロナウイルスの影響を考慮して、「YouTube」でのオンライン配信開催となります。  
※詳細、最新情報は、大地を守る会のホームページをご覧ください。



1 山梨県笛吹市で桃をつくり続ける一宮大地の久津間紀道さん。畑からライブ中継します。  
2 秋川牧園さんの工場を見学します。人気のお惣菜がつくれる秘密を聞きたい方必見！  
3 坂利製麺所さん(奈良県)。美味しいおそうめんの茹で方、食べ方レクチャーつきです。  
4 フェアトレードワールドツアー。オリーブオイルをつくる生産者とライブでつながります。

『NEWS大地を守る』はWEBでもご覧いただけます。イベントの詳細・お申込みもWEBからどうぞ。

大地を守る会

検索



●『NEWS大地を守る』に掲載している取り組みは、主に大地を守る会の宅配サービスの年会費・利用料で運営されています。

#### お問合せ

オイシックス・ラ・大地 ソーシャルコミュニケーション部  
TEL●050-5306-8513  
E-mail●ord\_social@oisixradaichi.co.jp

#### 注意事項

当社は、大地を守る会のイベント及び大地を守る会が告知する他団体のイベントにお申込みいただく際、ご記入いただく個人情報を、お申込み内容に関する確認、参加者への連絡、抽選、抽選結果連絡、お問合せに対する回答、非常時に関する対応、イベントの質向上管理のために利用させていただきます。なお当社は、イベント等を旅行者に業務委託する場合があります。この場合、個

人情報を開示することがあります。業務委託にあたっては、個人情報の保護に関する契約を締結し、業務委託先が契約を遵守するよう必要かつ適切な管理及び監督を行います。上記に同意の上お申込みください。個人情報の取扱いに関するその他の条件については、当社ウェブサイトの個人情報保護方針をご確認ください。  
<https://takuai.daichi-m.co.jp/Information/8>

※イベントについてWEBへのアクセスが不可能な場合は、ソーシャルコミュニケーション部へお電話いただきご確認・お申込みください。



発行 オイシックス・ラ・大地株式会社  
東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー5階  
TEL 050-5306-8513